

科目分類	専門基礎科目 健康の理解と健康支援	開講時期	1年	後期		
授業科目	セクシュアリティヘルス					
選択／必修	選択	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	益田 早苗					
メールアドレス	masuda@tsu.ac.jp	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	<p>人間の性（ヒューマンセクシュアリティ）は「人間が生きる事である」という基本的概念のもとに人間の性についての基本的な知識を習得する。</p> <p>①生物学的、生殖、社会・文化的、性意識・人間関係、等の側面を理解する ②ライフサイクルにおける性の発達、性意識・性行動の特徴を理解する ③看護師としての基本的な性の支援方法について理解する ④自己（学生）の性的アイデンティティの発達と確立を促す</p>
授業概要	<p>人間の一生に寄り添って援助を展開する看護師にとって、人間の性に関する知識および介入スキルは不可欠なものである。授業は基本的に知識を覚えるというよりは自分で考えることを主体とし、講義とディスカッションを中心に進める。性に関しては未だに偏見もあり、受講生も戸惑いや羞恥心を感じるかもしれないが、自分自身の性体験等を話したり、レポートする必要はない。</p>
授業内容	<p>第1回「人間の性（ヒューマンセクシュアリティ）とは何か」 性の概念と諸側面、性の意義、性科学とは何か</p> <p>第2回「人間の性の特徴」 人間の性行動と性反応、脳と性差、恋愛について</p> <p>第3回「ライフサイクルと性」 乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、老年期の特徴と発達課題</p> <p>第4回「性意識と性行動」 思春期以降の性意識と性行動、10代妊娠と人工妊娠中絶（望まない妊娠）、妊娠先行型結婚</p> <p>第5回「性の諸問題」 性感染症、性の商品化、性暴力（DV、性被害、性犯罪）、医療の場における性被害（傷つき体験）</p> <p>第6回「少数派（マイノリティ）の性」 中高年、障害者、患者、LGBT、性別違和（性同一障害）等</p> <p>第7回「性の支援における基本的概念とその方法」 リプロダクツヘルス&ライツ、性の権利宣言、セクシュアル・ヘルス推進のための行動と戦略、性の発達支援と性教育</p> <p>第8回「看護における性の支援」 患者と性、性の支援における看護師の役割</p>
教科書 参考書等	<p>教科書：「ヒューマンセクシュアリティ論ノート 看護・保育・教職課程のために」益田 早苗 著 大空社 2017（改訂版）</p>

成績評価 基準・方法	試験無し。授業時のレポート提出あり。4回のレポート点(25点×4=100点)
履修要件	特になし
留意事項 その他	<p>看護師にとってセクシュアリティに関する科目は必須の学習内容ですが、単独で開講されている大学は少ないのが現状です。特に、将来助産師、保健師、養護教諭等を目指す学生には受講をお勧めします。科目等履修生も歓迎です。</p> <p>予習：テキストの該当部分、及び関心のある内容についての情報収集 復習：次回講義までに当日学習した内容および更に自己学習したレポート作成</p>